

「アメリカ合衆国政府は、中国はただ一つであり、台湾は中国の一部であるとの中国の立場を認め。」
「アメリカ合衆国は、中華人民共和国政府が中国の唯一の合法

華人民共和国との間の外交関係樹立に関する共同コミュニケ」は「曖昧」でなく「明確」そのもの。
2025年12月19日、国家安全保障問題担当大臣補佐官も兼任の対中強硬派と目されていたマルコ・ルビオ国務長官は「地政学上の重要な存在」が「世界第2位の経済大国」で「日中の応酬は両国間で解決すべき問題」と声明。前稿「戦略的現実主義」で言及のランド研究所国家安全保障研究部も「米中ライバル関係の安定化」論文で「台湾問題の安定化には統一に向けて北京が段階的アプローチを追求する最大限のインセンティヴ創出が肝要」と提言。女性宰相「台湾有事」発言を巡って「浅慮淺薄」「快刀乱麻」と喧嘩すり島国は、今や周回遡れ状態。

ワシントンDCのニュースメディア「Politico」「Defense One」は12月10日、ドナルド・トランプ政権「NSS 国家安全保障戦略」の「非公開版」をスクープ。北米ナルドは米露印日「核心的利益同盟」G7を「和して同ぜず」戦略に基づき画策。用意周到に名譽

白人ATM国家も末席へと加えて。であればこそ今一度、客家系華人4世のシンガポール初代首脳李・クワン・ユー李光耀が1999年上梓の「回顧録」で述懐の諫言を拳銃服膺すべき。
「日本人は、日本人より文明が低く民族的に劣ると見なしているアジア人と一緒に思われることを嫌っていた」。「天照大神の子孫で、選ばれた民族であり遅れた中国人やインド人、マレー人と自分は違うと考えていた」。「我々に対しても征服者として君臨し、英國よりも殘忍で常軌を逸し、惡意に満ちていることを示した。日本の占領の三年半、私は日本兵が人々を苦しめたり殴ったりするたびに、シンガポールが英國の保護下にあればよかつたと思った」。「同じアジア人として我々は日本人に幻滅した」。「戦争が終わって50年もたつのに、歴代の自民党政権政府は、そして主要政党の主だった指導者が過ぎていくことでこのようない」。「ドイツと違い、彼らは世代が過ぎていくことでこのように悪いが忘れられ、彼らの行為の記述が埃をかぶった記録の中に埋も

れさらってしまうことを願つてい
る」。「これらの過去を隣人に對して認めないならば、人々はこうした恐怖が繰り返されることもありえると恐れるかもしない」。
「分割統治」インドで製造のアヘンを中国で売り捌いたイギリス。イスラエルへ武器輸出でガザのジエノサイドに加担する近時のドイツ。一枚舌な両国に負けず劣らず、大英帝国軍に代わって新加坡を占領の大日本帝国軍が犯した数万人に達する「華人虐殺事件」犠牲者を忘るべからずと。
とまれ、ハンガリーのオルバン・ヴィクトル首相を筆頭にスロバキア、イタリア、ベルギーも「凍結ロシア資産」流用に反対する中、ヒラリー・クリントンとヴィクトリア・ヌーランド劣化版のウルズラ・フォン・デア・ライエンとカヤ・カツラスの女性コンビがウオロディミル「敗北確定」ゼレンスキと猪突猛進な欧州の衰弱に見切りを付けた米国。

翻つて1972年「日中共同声明」で台湾に関する「米中共同コミュニケ」と同等の正文を認めた日出づる国の「健忘症」は深刻です。



138

「和して同ぜず」

政府であることを承認する。この範囲内で、合衆国の人民は、台湾の人民と文化、商業その他の非公式な関係を維持する」。1979年元旦発効「アメリカ合衆国と中